

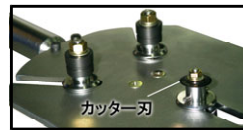
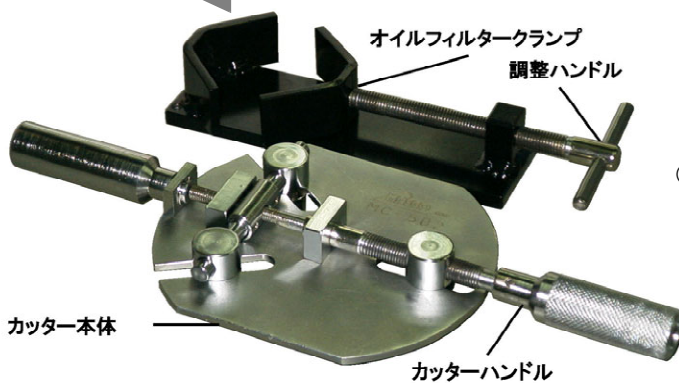


オイルフィルター セパレーター

- 産業廃棄物としての処理費用が削減できます！
- 取り付け面を上向きに作業できるので、廃油がたれることなくクリーンな作業が可能です！
- セッティングに、ネジアタッチメントを使用しないので、タイプを選ばず素早い作業が可能です。

軽自動車～2 t車クラスの、使用済みオイルフィルターを、パイプカッターの要領で簡単に切断できます。今後増加する、環境配慮型のオイルフィルターに対応して、金属のリサイクル促進、さらに産業廃棄物を大幅に削減できます。

適用オイルフィルター外径：φ58～φ130



使用方法

- (1) オイルフィルタークランプを、バイスに固定します。調整ハンドルを回転させて、オイルフィルターを固定してください。
「注意」 強く締め過ぎると、フィルターケースが変形し、分離が困難になりますので注意してください。



地球に
優しく。
無駄な費用も
削減。

- (2) カッター本体をかぶせて、カッターハンドルを右にひねり、オイルフィルターの外径に、カッター刃が軽く当たる位置まで回転させてください。



上記写真の様に、ケース、バルブ、芯筒などは金属リサイクルゴミ、フィルター部は可燃ゴミ、パッキンなどゴム類は不燃ゴミと、簡単に分別できる構造のものも登場しています。今のところ内部構造は、オイルフィルターメーカーによって異なり、一部産業廃棄物としての処理が必要なパーツが残るものもありますが、今後はより完全に分別できる構造に改良されるものと思われます。

- (3) カッターハンドルを、右に約1/2回転締めて、カッター本体を左右どちらか1方向に5回程度させてください。さらに、カッターハンドルを約1/8回転締め、カッター本体を5回程度させる作業を繰り返してください。
「注意」 強く締め過ぎると、フィルターケースが変形し、分離が困難になりますので注意してください。



- ◆◆◆◆ 使用上の注意事項 ◆◆◆◆
- <!> カッター刃およびケースの切断面は非常に鋭利ですので、怪我をしないよう防護グラブなどを着用し、慎重に作業を行ってください。
 - <!> クランプおよびカッターハンドルの締めすぎに注意してください。ケースが変形し分別が困難になります。また、刃の消耗を早めます。
 - <!> ケースが完全に切断される前に、カッターハンドル持って本体をこじると、ツールの各部に負担が掛かり変形または破損します。
 - <!> カッター部の刃は消耗品です。切れが悪くなったら、補修部品をお求め下さい。
 - <!> ツールの可動部分には、グリスを塗布してください。
 - <!> 分別後の各部処理方法は、各地方自治体の指導に従ってください。

- (4) 15～20回転くらいで、ケースがきれいにカットできます。ケースの切断面は、鋭利になっていますので、取り扱いには慎重に行ってください。

